# 中学部 効果的で効率的な授業づくりを目指して

立山 裕美(熊本大学教育学部附属特別支援学校)中学部職員(熊本大学教育学部附属特別支援学校)

#### 目 的

中学部は、縦割りのグループ編成や一斉で授業を行うことが多く、 学部全体の教師間の連携が重要である。そのため、授業計画や 評価については、学部全体の情報共有を大切にしている。そのような学部の実情や生徒の実態に応じた授業づくりのPDCAサイクルを充実させることで、効果的で効率的な授業づくりを目指す。

### 内容及び実践

今年度の中学部では,昨年度までの実践を引き継ぎ,より質の高い授業づくりを目指して取り組んだ。

#### 授業計画

P

#### Lシートの作成・活用

教科の年間指導計画

授業についての話し合い
→BS(ブレーンストーミング)の手法等で学部全体での
話し合い

授業担当者によるMシート・Sシートの作成

### 授業実践

・Mシート:単元・題材構想シート

・Sシート:授業構想シート

1/////

「ミッション」(授業において生徒が考えたり取り組んだりしてほしい活動)等の設定

リフレクション(省察)···生徒自身による振り返り 各授業の中で 単元の最後に 家庭での課題で



作業学習では, 毎時間,出来高 に加え,作業中の 様子の振り返りを 行う。



単元の最後には、学んだこと等を写真と文章で振り返りを行う。



職業・家庭「くらし」 では、家庭と連携 し、学習したことを 家庭で実践するこ とで振り返りを行う。

#### 生徒の様子や発言を残すための **付箋の活用**

評価

С

授業の評価 =**S研・M研** 

- ・個別の指導計画
- 学習のあゆみ(通知表)※どちらも年2回作成

改善

A

次の学習の授業内容等の検討 次年度の教育課程の改善

### 成果

### 1. 学習のつながり~Lシートの活用

学校行事や主となる学習を軸 としたLシートを作成し,各教 科等(主に国語,数学,道徳) の単元(内容)を配列した。

Lシートをミーティングを行う部屋に掲示したままにし、I年間の学習の流れや関連付けを日頃から意識できるようにした。

教科等の学習をつなぐ ことで効果的な授業づ くりができた。

地域資源の活用や協 働の視点も含めた授 業づくりにつながった。

### 2. 情報共有のシステムづくり~付箋の活用

授業における生徒の 様子や発言など,教師 の普段の気付きを担 任の枠をこえて付箋に 書き留めた。 単元終了後に,付箋を交換し合いながら,生徒の学びの状況を話し合うことができ,情報共有につながった。

効率的な手法による記録で 授業づくりの時間を確保。



さらに! 付箋は各担任が保管 する生徒個々の「指導 内容関連表」のファイ ルにまとめ,学期末の 個別の指導計画や通 知表の作成等に活用。



### 3. 授業について語る時間~柔軟な運用 S研・M研

効率的・ 計画的 な実施 研究部が月間スケジュールを計画。予定を毎日確認。毎日全授業を評価するのではなく、1日1教科(1単元)をバランスよく取り上げたり、他の業務等に合わせて柔軟に運用したりした。

S・M研:毎日15分間を設 定し,授業研を行う時間。

> 評価を次の授 業に生かすこ とができた。

時間の 意識化 司会だけでなく、全員が時間を意識できるよう、ミーティングの部屋の両壁に時計を設置した。



授業づくりの 時間確保に つながった。

情報の 共有化 いつでも授業評価が確認・共有できるように、あえて電子化で残さず、手書きで記録した3年間分のファイリングを保存した。

授業へ手軽 に生かすこと ができた。

## 今後に向けて

授業づくりのシステムの改善が,効果的なミーティングの実施につながり,そのことで,日々の授業評価から,授業改善に効果的・効率的につなげることができた。一方で,単元毎の生徒の目標設定等について十分に検討できなかったという課題も残り,時間の確保や方法等について検討が必要である。

また,今年度は,Lシートを活用して学校行事や主となる学習を軸として,関連のある各教科等の単元(内容)を同時期に配列するような形で関連性を図ることができた。今後は,学びを各授業に般化できるような単元の配列についても考えていきたい。